

運輸・物流動態データの共同利活用推進事業

【お問い合わせ】

SGシステム株式会社
LIS事業部 石井 淳
03-3768-8711/090-5967-3792

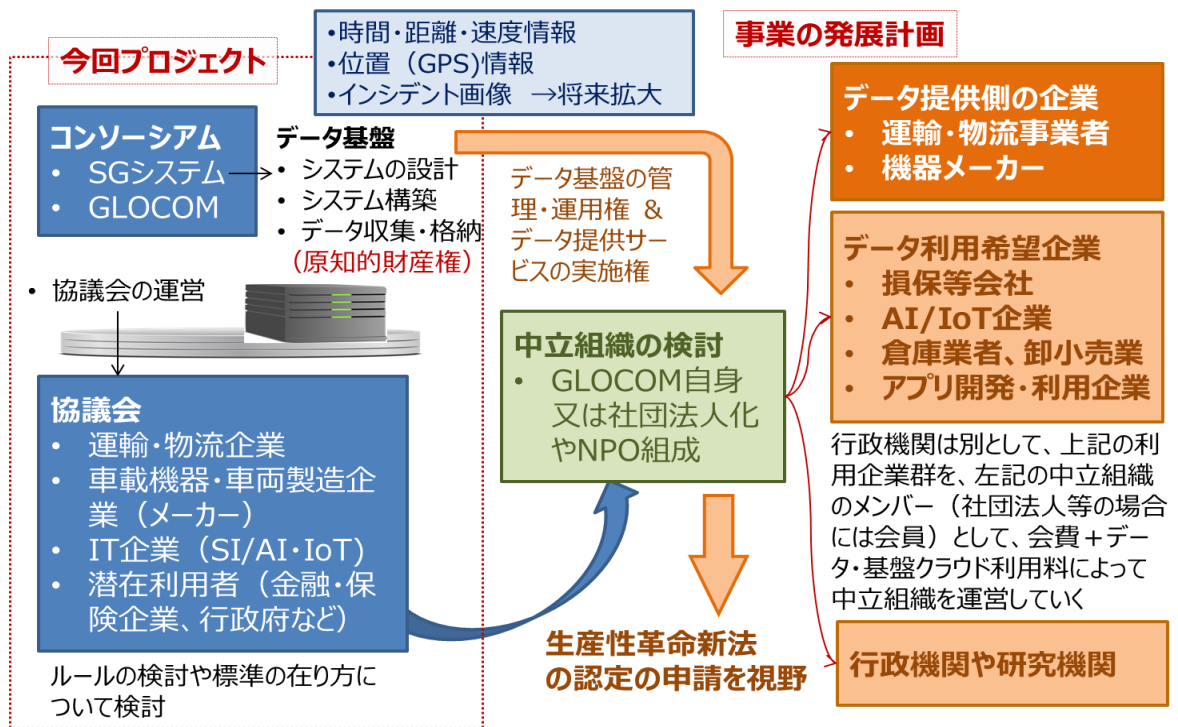
SGシステム株式会社
(国際大学グローバル・コミュニケーション・センター)

事業概要

労働力不足や車両積載効率の低下に悩む運輸・物流業界において、車両動態（モビリティ）データの共同利活用の基盤を構築、かつ、できるだけオープンな形で提供することにより、同業界において今後ますます強まっていくであろう制約の緩和・解決を図る。

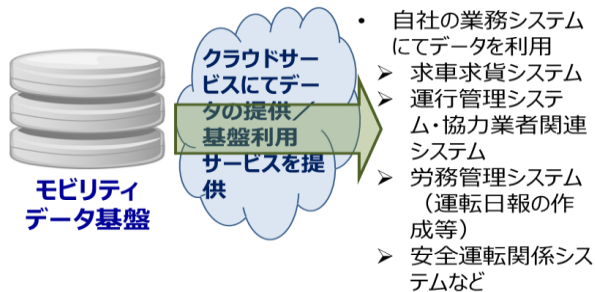
- モビリティ・データの利用基盤の構築とデータの提供
- データ及びデータ基盤の標準仕様の策定
- モビリティ・データの保有・提供・利用に関するルール／モデル契約の策定

事業モデル

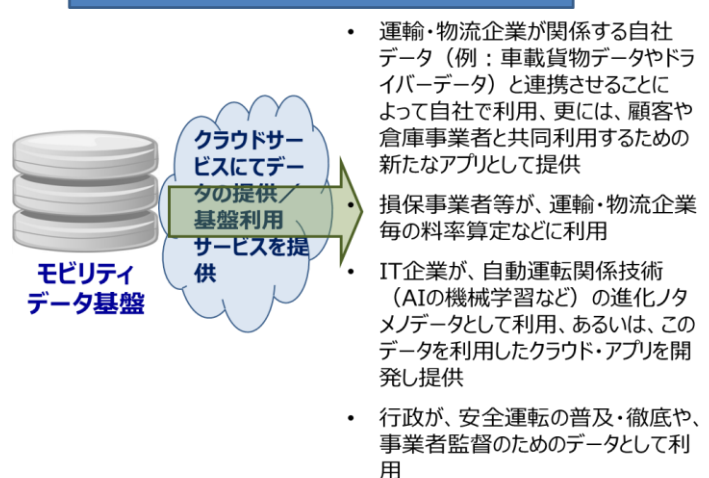


データ利用イメージ

① 運輸・物流企業がサービスを利用



② より広範な事業者が利用（今後：SIP連携も視野に）

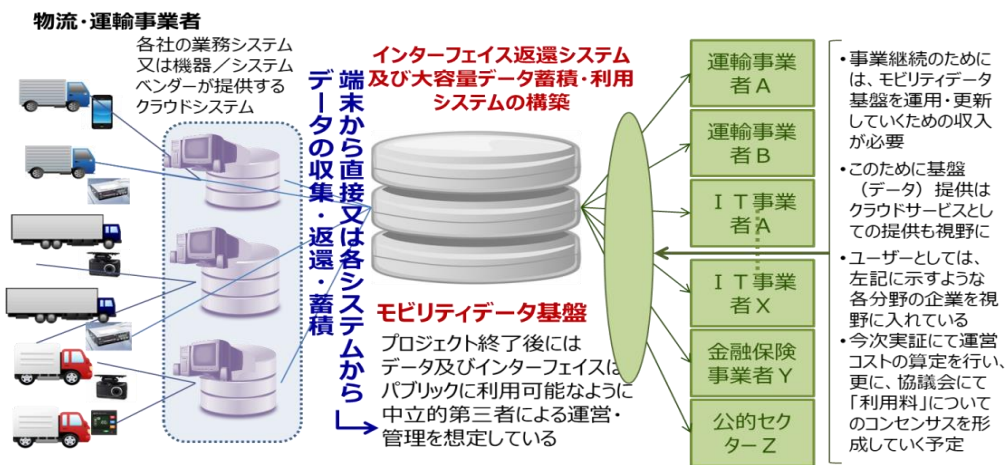
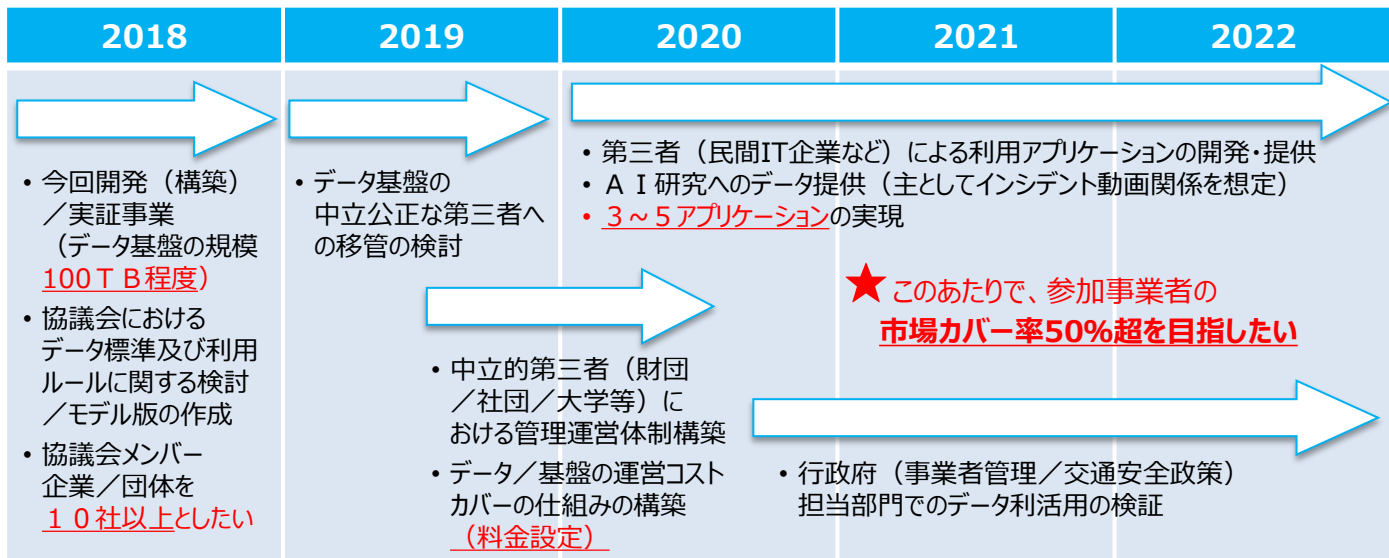


- 将来の物流（貨物）データとの連携活用も念頭に置き、車両運行に関するモビリティビッグデータの蓄積基盤とインターフェイスシステムを構築する。
- データの中にはビジネス上でセンシティブなデータも含むため、当面は、法定3要素（時間・距離・速度）、位置情報（GPSデータ）、インシデント画像から始める。
- 運輸・物流事業者が実際にデータ収集・利用を実証し、利用可能性の検証を行うとともに、仕様の改善等を図る。
- また、蓄積されるデータの仕様（標準）や利用のためのルール／契約の標準形の作成について、協議会を組織し、そこで標準版（a版）の作成を行う。

- 本データを利用した物流・運輸事業者の効率改善
 - 車両管理システムの高度化・効率化
 - 顧客・倉庫とのデータ共有による効率改善
 - 運転日報作成などドライバーの負荷軽減
 - データを利用した安全運転診断 など
- モビリティ（車両動態）データの利用に関する標準的な仕様やルールが策定されることにより、業界でのデータ共有・利用が可能になる（現状不可能）
- 将来の利用については、前述の「②」を参照のこと

今後のスケジュール

- 2018年度は、（現時点までに検討してきている）標準のデータ仕様／インターフェイス仕様を採用したシステムの構築と利用ルール（含 モデル契約）の策定を行う
- 2018年度以降、当該基盤等をパブリック・ドメインとして運輸・物流事業者／IT企業等への提供を進める



ビジネスパートナー募集

本事業にご協力いただける、以下のような事業者を希望する。

【データ提供者：物流事業者】

- すでに活動しているが、運輸・物流企業にはデータ提供に二の足を踏む向きも少なくない。このため、「協議会」として多くの企業に参加を呼び掛けているが、公的な政策の方向がそちらに向いている・・・ということ表明して後押しが欲しい

【データ提供者：機器製造事業者】

- 現在、機器製造事業者は、自社の機器から送信されるデータの仕様公開に後ろ向きな企業も多く（困り込み）、この状況の改善のための働きかけが欲しい